

開館 70 周年記念展示

「本の玉手箱 ―国立国会図書館 70 年の歴史と蔵書―

国立国会図書館 関西館 で開催(11/30-12/22)

国立国会図書館は、昭和 23 (1948) 年に開館し、今年で 70 周年となります。これを記念して展示会を開催します。今回は、通常の展示会よりも大規模で貴重な図書、資料を展示いたします。この機会にぜひご覧ください。

本展示会は、当館の歴史を第 1 部、さまざまな蔵書の紹介を第 2 部とした二部構成で行います。

【第 1 部】当館の源流とも言える「帝国図書館設立案」や帝国図書館の館名板（表札）をはじめ、納本制度による目録『納本月報』の初号や『国立国会図書館電子図書館構想』など。

【第 2 部】

第 1 章「美しい本・珍しい本」

仮名垣魯文作の合巻本（江戸時代の絵入小説）、ミノムシの蓑を貼り込んだ本、俳優団扇画、大きさ 1m を超える本や 2mm に満たない本など。

第 2 章「どこかで見た本」

『アンパンマン』や『ドラえもん』などの初出、藤島武二デザイン『みだれ髪』、吉田茂や関係者署名入り「日本国憲法（官報号外）」など。

第 3 章「世を映す本」

国連加盟が承認された際の議事録、『窓際のトットちゃん』、「太陽にほえろ！」の脚本など。

○概要

開催期間：平成 30 年 11 月 30 日（金）～12 月 22 日（土）（休館：日曜、12 月 19 日（資料整理休館日））

開催時間：午前 10 時～午後 6 時

展示資料数：約 110 点(12 月 10 日～20 点を展示替え)

会場：国立国会図書館関西館 大会議室（地下 1 階）
〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3)

入場：無料・年齢制限なし

問合せ先：国立国会図書館関西館総務課（電話：0774-98-1223）

URL：<http://www.ndl.go.jp/exhibit70/index.html>

○展示資料例

花裘狐草紙（はなごろもきつねのそうし）
3編 12巻 うち第3編 仮名垣魯文 作
一猛斎芳虎 画 錦橋堂山田屋庄次郎
文久3（1863）年

庶民向けの合巻本（江戸時代の絵入小説）の一つ。擬人化された狐や狸が繰り広げる恋愛騒動を描く。主人公の紺三郎は四代目中村芝翫（なかむら しかん）の、ヒロインの玉垣は三代目沢村田之助（さわむら たのすけ）の顔に似せる。展示箇所は3編上、下の表紙。表紙の遊女と客の姿態が、見返しでは同じ姿態の狐の「影絵」になる。（関西前期）



平治物語〔絵巻〕 うち〔三条殿焼討巻〕
住吉〔広行〕〔ほか〕 寛政（1789-1801）
頃 写

展示資料は、平治の乱（1159年）の顛末を描いた絵巻物。鎌倉時代中期（13世紀後半）に成立した原本を、江戸時代の画家住吉広行が忠実に模写したものである。展示箇所は藤原信頼・源義朝の軍勢が後白河上皇の御所を急襲し、御所が炎上する場面。（関西前期）



○撮影について

古典籍等はデジタル化されているため、国立国会図書館デジタルコレクションの画像を御利用ください。また、取材時の撮影については職員にお尋ねください。

○問合せ先

展示内容について：国立国会図書館関西館 展示班 堀内（電話：0774-98-1331）
 取材申込み：国立国会図書館関西館 総務課総務係（電話：0774-98-1224）

※2 ページ目に掲載した画像は当展示会の広報の目的でお渡しすることができます。画像掲載の際には書誌情報及び当館所蔵であることを明記していただきますようお願いいたします。